

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年6月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300732
法人名	有限会社 祓川養魚場
事業所名	グループホーム湧水の里
所在地	〒893-0026鹿児島県 鹿屋市 祓川町 5250-8番地 (電話) 0994-43-2514
自己評価作成日	平成25年4月24日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成25年5月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・すぐ近くの山では野鳥のさえずりが聞こえ、すぐ近くの池では鯉が泳いでいる
湧水の里、豊富な自然に囲まれゆっくりとした時間が流れる中を利用者の皆様は、御家族からの希望の多い散歩を、楽しんでいらっしやいます。春は桜・秋は黄金色のたんぼなど、季節を目と肌で感じながら時には外でお茶をしたりさせています。健康管理に努めながら、どこにでもあるような暮らし 「皆で畑仕事玉ねぎの収穫」をしたり、月2回ひまわり喫茶でホットケーキを焼いてあつあつを食べたりと元気に生活されるお手伝いをしています。 私達が目指すのは「楽しい我が家」心からそう感じて頂ける様スタッフ一同 努めています。

【理念・地域との関わり】

・日頃から「人と人とのふれ合い」を大切に考えており、入居者・家族はもちろん、地域住民や来訪者など事業所を取り巻くすべての人々を尊重し、ふれ合いを通じてよりよい関係を築こうとしている。
・事業所主催の「春祭り」や「秋祭り」では多くの地域住民との交流があり、年2回実施している避難訓練の際に地域住民の参加がある。また、散歩や買い物等日常生活においても地域との関わりを大切にしている事業所である。

【一人ひとりの人格の尊重】

・理念とは別に社訓があり、関係者全員に向けて感謝の気持ちを表すとともに職員の入居者に対する言葉遣いの大切さやプライバシーに配慮したケアへの実践について掲げて、人格の尊重に努めている。

【食事へのこだわり】

・この事業所を含めた同法人の事業所すべての米と野菜を自家栽培しており、入居者や家族に大変喜ばれている。
・毎日の食事が楽しみであるよう、果物やデザートを添えたり、季節行事や誕生会には行事食を提供するなど、食へのこだわりと楽しみについても工夫している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「明るく豊かな人と人とのふれあい」「地域と共に」の理念の下、日々の生活の中でホームにて秋祭りを行い地域の皆様との交流の場を設けたりドライブに出かけたりしてふれあいの機会を設けている。	開設当時に立てられた理念が現状に即しているか、毎月のミーティング時に職員間で話し合い確認している。理念にある「人と人とのふれ合い」とは、関係者全員のふれ合いを通じて日々の生活を心豊かに送って頂きたいという思いが込められたものとなっている。理念の他に職員の士気を高めるべく社訓も掲げられている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	3月は町内会行事「祓川棒踊り」があり地域の小、中、高生がホームで踊りを披露してくれました。今年4月には湧水の里での春祭りを計画、地域の皆さんとの交流に努めたい。	小学校の運動会や「8月踊り」を見学したり事業所で「祓川棒踊り」を披露してもらっている。事業所主催の「春祭り」や「秋祭り」には職員の手作り弁当を振る舞うなど地域住民の方との交流が盛大に行なわれている。また、近隣の方から花や自家製の椿油の差し入れを頂くなど日頃から親密な交流ができています。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議に御家族の参加を頂き、認知症についての勉強会を行っている。。秋祭りに近隣の皆様の参加を頂き利用者の皆さんとの交流を図りながら意見交換の場にもなっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価の報告を行ったり地域との交流についても話し合い、町内会長・消防団長・家族の代表の方々の意見を頂き行事計画を立てたりしている。	2ヵ月に1回運営推進会議を開催しており、そのうちの2回は「春祭り・秋祭り」に合わせて家族会と運営推進会議を開催している。会議では事業所の取り組みや行事等についての報告がなされるとともに災害時の対応や避難経路について話し合うなど改善につなげている。また、外部評価の結果については、だれでも閲覧できるように玄関に置いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村との連携を密にとり認知症ケアの向上に取り組んでいる。家族会にも参加して頂き利用者の皆様御家族や職員との交流の場もある。	行政担当者とは運営推進会議で顔を合わせており、介護保険証の更新や書類提出等の際にも事業所の取り組みや暮らしぶりを伝えるようにしている。また、逆に行政からも事業所の空き状況確認の問い合わせなど、日頃から連絡を取り合い連携を深めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については定期的な勉強会を行っていて、身体拘束による弊害も職員が理解している。	詳細に分類されたマニュアルを作成し、年に数回、内部・外部研修を行なっている。研修後は職員にレポートを提出させるなど身体拘束しないケアについて積極的に取り組んでいる。入居者が外出しそうな様子を察知した時は、近くを一緒に散歩したり、ドライブで馴染みの場所に出かけるなど、状況に応じた対応を心掛けている。また、言葉の拘束についてもよく話し合われており、抑制を含む内容の言葉や馴れ合いすぎた言葉遣いにならないよう気を配っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	開かれたグループホーム作りに努め御家族の面会も多い。高齢者虐待についての勉強会も定期的に行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員に成年後見人をしている者がおり必要があれば支援できる。研修会にも参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用契約時、家族への説明は丁寧に行っている。不安や疑問点には分かりやすく十分な説明に努め、理解・納得を得られている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>毎日の生活の中で、いつでも利用者の皆様のやりたい事等の声掛けを行いながら、より質の高いサービスに努めている。御家族の面会時には何でも話して頂けるよう声掛けを行っている。</p>	<p>入居者の思いについては、日々の生活の中で好きなことや嫌いなことの把握に努めるとともに家族からは訪問時や家族会の時等に意見を聞き取るようにしている。家族や運営推進会議のメンバーには、毎月「湧水の里便り」を郵送して事業所の取り組みや行事、日々の生活等の情報を発信するよう努めている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の職員会議で職員の意見を聞く機会を設けており、より良いグループホーム作りに結びついている。</p>	<p>職員の意見は毎朝の申し送り時やミーティング時に聞き取るようにしており、年2回程度職員全員で食事会を開くなどコミュニケーションを図っている。勤務体制や職員の異動など大事な決定については、職員の意見を参考にしながら運営に取り入れている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>常に高い目標を持って、それに向けて職員全体で勉強している、何でも意見を出し合い職員の働きやすい明るい雰囲気作りに心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全職員の研修参加計画を作り研修に参加している。また日々勉強したことをレポートにまとめて毎月提出している。ホームに認知症の専門講師を迎えて勉強会も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>ネットワーク作りを行い地域の同業者と交流を行っている。毎月の勉強会でそこでの情報を取り入れてサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
の					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者とじっくり話しながら本人の思い困り事不安等に、職員全体で耳を傾け寄り添いホーム内外の生活環境に慣れて頂くよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>来居時「何でも話してくださいね」と声掛けしながら、雰囲気作りに心掛け安心して御家族の思い話していただけるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者の皆様御家族時にはDrも交えて、その時の本人にとって何が一番かを見極めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>もちつき等一緒に楽しく作業しながら学ぶ事も多い。洗濯物畳みや料理作り、盛り付け等の手伝いを頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会への参加や面会も多い。ご家族でのドライブの希望もあり楽しんでいただいている。関西から毎月面会もあり昼食を一緒に楽しまれている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	時々遊びに来て下さる知人の方も有り、昔話に花をさかせたり、生まれ育った場所までドライブに出かけ海を眺めたり近所の方々とお茶されたりしている。	これまでの人間関係や馴染みの関係については、入居時に詳しく聞き取り、アセスメントシートに記載している。お墓参りや美容室へは家族に同行をお願いしているが、家族が忙しい場合職員が同行して支援している。買い物などの要望が出された時は、可能な限り対応するよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	楽しく会話する場を確保し馴染みの関係がそれぞれに深まっていくよう努めている。外が好きな方は桜の木陰で外気浴をたにしみながら会話されている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された家族が遊びに来て現況を話して下さったり、退去されて4年目のご家族から連絡がありすぐに面会にいたりさせていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の希望に沿って年間行事計画を立てている。御家族の面会時に希望や思いを伺いながら利用者のサービスにつなげ利用者の思いに答えるよう努めている。	入居時に把握した思いを、毎日の生活の中で確認するとともに日々変化していく思いについても汲み取る努力をし、申し送りやケア会議において話し合い情報を共有している。思いをうまく伝えられない方については、家族から情報を得るなど意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、本人・家族も交えてこれまでの暮らしぶりを聞いている。一人一人の生活暦は職員全員把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェック後、天気の良い日は散歩に出かけたりホーム内では料理好きな方には昼食準備に参加して頂いたり、洗濯物を干して下さる方・豊んで下さる方、それぞれに協力を頂いている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の方々を中心にして御家族やドクター等の意見を聞きながら、新たな生活課題が生じていないかなど確認して今よりもっと利用者の笑顔や自信を引き出せる介護計画作成に努めている。	毎月のケア会議にて入居者全員分のモニタリングを行ない、3か月に1回モニタリング表に詳しく落とし込んでいる。介護計画については、基本的には6か月ごとに見直しをしているが、入居者や家族の思いが変化した時や状況が変化した時等には、その都度カンファレンスを開き現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	皆が見て分かりやすい記録をとり個別にファイルし、朝・夕引継ぎにて情報を共有している。毎月ケア会議もおこなっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	後家族が遠方より毎月来居され部屋にて一緒に昼食を摂って頂いている。又、まだ泊まられた方はいないが宿泊もできる事を説明し状況に応じて対応できるようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員・町内会長・消防団等への協力依頼の挨拶まわりに行き地域の消防団の協力の下火災避難訓練も行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	全員、かかりつけ医があり定期受診を行っている。病院受診は家族の協力も得られて適切な医療が受けられている。ご家族の希望で月2回の往診を受けてる方もいる。	アセスメントシートに入居前のかかりつけ医を記載し、入居後もかかりつけ医を受診できるよう家族と職員が連携して支援している。受診時の情報は「受診記録票」にて詳しく記載され、その日のうちに職員間で確認し合い、申し送り時にも確認し合うなどして情報の共有に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護利用時は、利用者の今の状態を丁寧に説明を行っている。自分から元気ですよと嬉しそうに話したりされている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は度々病院を訪ねている。本人が早い退院を希望された場合は病院関係者との相談や情報交換を行いながら早く退院されたりもしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早い段階に、かかりつけ医・本人・家族と相談しながら本人にとってベストな支援に取り組んでいる。最後は自宅で看取りたいと言われているご家族もいらっしゃる。</p>	<p>入居時に「重度化対応、終末期ケア対応について」で説明し、入居後も看取りについての説明をし同意を得ている。積極的に外部研修に参加し事業所内でも研修報告とレポート提出するなど熱心に取り組んでいる。本人や家族の思いや変化など状況に応じて、その都度話し合い対応することができている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>グループホームにて普通救命講習会を行っている。事故発生時のマニュアル本もあり勉強会も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>中央消防署や地域の方々の協力の下、火災避難訓練・地震訓練を定期的に行っている。火災・災害時における近隣住民の協力連絡網もあり、協力を得られる体制も築いている。</p>	<p>災害別に分類されたマニュアルを作成し、夜間想定を含む避難訓練を実施している。訓練には同法人の事業所職員の協力や地域住民にも参加してもらうなど実践的な訓練を実施している。また、職員は普通救命士の資格を取得しており、そのための研修会を事業所内で行なっている。備蓄については、飲料水や食料等準備し災害時に備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩である利用者の誇りやプライバシーを損ねる事のないよう基本的な「です」「ます」調で言葉掛けには十分注意している。	日頃より入居者の人格尊重には配慮しており、入居者には明るく、生きがいを持って生活してもらいたいと職員は考え接している。特に言葉遣いには気を配っており、長年の付き合いで馴れ合いすぎる関係にならないよう「です」「ます」を使うことを徹底している。排泄については、声のかけ方やケアの方法・場所等にも気を配っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	理容・外出・着替え等の希望も含めてゆっくり対話をしながら決めていただいている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩に出かけ、花好きな方は花を摘んだり歌の好きな方は歌を唄ったりされている。又移動パン屋パンの実で買い物を楽しまれたりしている。一人一人のペースを大切に支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	外出時はおしゃれ着へ着替え気分転換になっている。訪問理容のボランティアが有り髪をカットして頂いたり、訪問美容にて眉カットをして頂き喜ばれている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理好きな利用者と一緒に下準備を行っている。又、食事前の「いただきます」を代表で言って頂き全員で楽しく食事をしている。	特に献立は決めておらず、入居者の食べたいものや冷蔵庫内にあるものを利用して、その日のメニューを決めている。また、調理など一連の工程を入居者と一緒に取り組み職員も同じものを一緒に食べている。おいしいものをたくさん食べてもらいたいと米や野菜は自家栽培したものを提供しており、入居者や家族から大変喜ばれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、食事量・水分量を記録している。水分は数回に分けて摂って頂き、お茶スポーツドリンクをお代わりにて飲まれている。おおよそのカロリー・栄養バランスを把握している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	基本は毎食後の口腔ケアだが義歯のない方はお茶を飲み流されたりされているので、お茶をおかわりし飲んで頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを職員が把握して時間を見てトイレ誘導を行っている。日中のオムツ使用者はいない。	トイレに行きたい素振りを感じた時や排泄チェック表を基にトイレ誘導している。日中はリハビリパンツやポータブルトイレに頼らないようトイレでの排泄を支援している。排泄介助の方法やリハビリパンツを外す努力については、介護計画に組み込み、職員全員で取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘症の方にはオリーブオイルを味噌汁に混ぜて飲んでいただいたり、黒豆茶を家族の希望で飲んで頂いたり、おやつに焼き芋を出したりしている。また便秘症の方はドクターに相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	薬風呂にてくつろいだ入浴を心掛けています。基本は午後入浴だが時間の中で一番風呂の好きな方、後でと言われる方はそのようにさせていただいている。	午後からの入浴を基本としているが入居者の希望により好きな時間に入浴でき、状況に応じてシャワー浴や清拭で対応することもできる。ゆず湯や入浴剤を使うなど入浴を楽しむ工夫もされている。入浴を拒む方には、本人の気持ちに配慮しながらタイミングを見計らって声をかけたり、入浴時間をずらすなど個人に合わせて対応している	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一日の流れの中で、散歩に出たりホームに戻りお茶したり、健康体操で体を動かしたりしてよい眠りがくるよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員で薬についての勉強会を行い、内服の説明書を持っていて用法用量を理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	プランターで野菜を育てるのを楽しみにされていたり、ひまわり喫茶で手作りおやつを作り、コーヒーやホットミルクを好みに応じて飲んで頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	御家族の希望で生まれ育った故郷までドライブしたり、季節ごとにいちご狩り・みかん狩り・初夏のドライブにも出かけたりしている。	個人の要望に合わせた外出を支援しており、歩行の難しい方の外出についても車椅子対応車にて外出を支援し、気分転換や五感刺激が得られるようにしている。日頃より買い物やドライブに出かけており、桜やバラなど季節の花を見に出かけたり、みかん狩りやぶどう狩りにも出かけ、戸外で楽しむ時間をすごせるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>移動パン屋にて好きなあんパンの買い物をして頂いている。又、職員と一緒におやつの買い物をしたりされている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族から週1回電話があり元気な声を届けたり、暑中見舞いや年賀状を職員と一緒に書いて出されている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>生活空間はゆったりとしている。和室もあり、居間には季節の花を飾ったりし自由な雰囲気の中で生活して頂いている。</p>	<p>バリアフリーの玄関を入ると正面に入居者と職員が生けた季節の花が飾られており、フロアには生け花に加え、季節ごとの作品が展示されており、入居者や来訪者の目を楽しませている。フロアには畳スペースも設けられ、それぞれの好みで畳やソファに座り会話を楽しんだり、テレビを見たりして、くつろいでいる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>話し好きな方、テレビ視聴される方たちが居間や和室ソファにて思い思いに過ごされている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>小さなテーブルや椅子、御家族の写真鉢植えの花等持ってきて頂き、それぞれに自分の部屋作りをされている。</p>	<p>眺めの良い居室にはベッドとエアコン、クローゼットが備え付けられ、自宅から持ち込まれたテーブルや椅子などと共に使いやすいよう配置されている。また、家族の写真やカレンダー、思い出の品等を入居者と家族、職員が一緒になって飾り付けするなど、各居室が温かい雰囲気になるよう工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりが全てに設置されていて、車椅子用トイレ、男性用トイレもある。居間でくつろがれたり和室ソファにてテレビを観られたりと自分のペースで過ごされている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「明るく豊かな人と人のふれあい」「地域と共に」を基本理念とし、理念を共有し理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所を地域の施設と位置付け町内会に入り、地域の中学生による芸能祭り棒踊りや小学校の運動会の見学を通し子供達との交流もある。ホームでの催し物としては春祭りを開催して地域の方々との交流も深めている		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	高齢者の多い地域である。高齢者の方々の生活を見て、困っておられる様子が見られた時には、自然に声をかけてお手伝いをしている。祭り事への参加も呼びかけている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では利用者やサービスの実際・評価への取り組み状況等について詳しく報告を行っている。毎月発行するホーム便りによる生活の風景写真や色々な行事等を見て貰い、それに対する意見を頂き、より良いサービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市担当者は家族会や運営推進会議等に参加し日頃から連携を取り合い疑問に思った事や分からない事などについては積極的に相談したり質問したりしながら協力関係を築いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の昼間の施錠はしていない。身体拘束の勉強会を定期的実施しており、身体拘束による弊害も全職員は理解している。ベッドからの転落事故の危険性のある方へはセンサーマット対応にて拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は毎月のスタッフ勉強会の中において高齢者虐待防止法について学ぶ機会を持ち事業者内での虐待が絶対に起こらないケアに取り組んでいる。研修会へ参加し研修結果報告も行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者や職員は日常生活自立支援事業や青年後見制度について研修会への参加または毎月のスタッフ勉強会のテーマに取り上げ学ぶ機会を持っている。ご家族の中には必要性を感じておられる方もおられ、アドバイスは行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用契約時に管理者による重要事項説明がある。その中において利用者側からの不安や疑問点を尋ねている、質問に対しては分かりやすく十分な説明を行い理解・納得を得られている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の方々は意見要望を上手く伝えられないが、日々接している中において、職員は感じ取れる部分も多い。家族等意見についてはその都度お聞きしたり意見箱等の設置において気軽に相談を頂き、職員間で改善に向けての話し合いを行い運営に反映させている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎日の申し送りや毎月の職員会議の中で意見や提案を聞く機会を設けている。提言などもレポートを提出して代表者や管理者は職員の意見を運営に反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回はホーム全体の食事会も開催している。職場環境作りを良くし、各自が向上心を持って働けるよう色々な意見を聴くことに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月1回の勉強会に加え、医療法人の方や外部講師の方を招き研修会を行なった。外部研修への参加はスタッフが均等に受けられるよう配慮している。資格取得も積極的に促し1名の合格取得者があった。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームの職員との交流も大切にしている。相互訪問等により。ホーム内の環境作りや活動内容を見せて頂き、勉強し、よりよいサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用について相談があった時には必ず本人や家族と会い心身の状態やそれぞれの思いに向き合うようにしている。精神的不安の無いよう温かい支援づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様にお会いし、困っている事や不安な事・要望等を詳しく尋ねメモしておく。誠意を持って対応していけるような関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	契約をしに来られた際は管理者がご家族様に懇切丁寧に対応している。又、ご家族様の必要としている支援を見極め十分に話し合い、本人に必要としているサービスの対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活をしている中において料理の下ごしらえや本人に負担のない範囲で色々なお手伝いをして頂いている。スタッフと一緒にいる事で会話も弾み、楽しい雰囲気の中で家族のような関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人を理解した上でどうしても難しい状態・状況が見られた時にはご家族に相談し共に本人を支える関係が出来ている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室にはご家族様と過ごされた頃の写真や面会に来られた時に写した写真、思い出のある置物等が飾ってある。友人や孫様、親戚の方々の面会があった時にはぜひまたおいで下さるよう声掛け行っている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様一人ひとりの性格や好みなどを把握し会話が弾み笑いが多く聞かれている。また、上手くコミュニケーションがとれない方には職員や利用者様が間に入り話に参加できるように支えあえるような支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院後、ホームでの生活が難しい事での契約終了であった。入院中もたびたびお見舞いに伺ったり、その後の様子もご家族様から電話で伝えて頂き、これまでの関係を大切にしていた。病状の回復に応じては、ご家族様からの相談や悩みごともお聞きするつもりであった。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの会話や行動の中から思いや意向をくみ取れるように努めている。また困難な場合にはご家族様からの情報や要望を聞いたり相談したりしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にこれまでの生活歴を伺って介護サービス利用の参考にさせて頂いている。また、生活の流れの中でご家族様や職員との気付き、話し合いにおいて経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人にあった心身状態を把握し個性を大切にしながら、出来る事を喜び、出来ないことへの支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、一人ひとりのサービス内容の把握の意味も踏まえ、職員の方々へサービス内容の評価をして貰っている。その結果をケア会議で話し合い、意見や気付き、要望・アイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録で残す事の大切さは職員一同認識しており、その記録は個々にされている。朝の申し送りや記録を読み合う事で情報を共有し、実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況・その時々生まれるニーズに対応出来るよう話し合える時間を設けている 気づきや要望に柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	小学校の運動会や地域主催の夏祭りや踊りの見学にも参加し楽しんで頂けるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望どおり、かかりつけ医の受診や訪問看護など利用している。主治医とは入居者の現状やホームでの様子を報告し信頼関係も築き適切な医療を受けられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の関わりの中でとらえた情報や気づきをスタッフと話し合い定期受診時に担当医の先生に相談を行っている。また週1回の訪問看護利用や点滴支援の際は適切な受診や看護を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはご本人への支援方法に関する情報を提供した「サマリ」また頻繁に見舞いに行く事で情報交換・共有に努めた。ご家族やソーシャルワーカー・担当医との間に入りより良い関係づくりを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向けての方針は入居時に、重要事項説明書で説明して同意を得ている。今後、状態の変化においては訪問看護を利用し主治医と連携をとり、事業所でできる支援の方針を共有し共に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時に備えてマニュアルにそった勉強会も行なっている。応急手当や初期対応の方法を定期的に話し合い、実践力も身に付けている。3月より(救急隊への情報提供カードも作成している)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策においての勉強会や年2回の火災避難訓練・地震訓練を実施している。又緊急連絡網により従業員近くに住む地域の方々の協力が得られるような体制も築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの誇りや尊厳を大切にし言葉の持つ意味の大切さを十分に考慮している。職員は人格の尊重に配慮した言葉かけや対応を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知度が進むにつれ、本人の思いや希望を表わせ無くなるが、出来るだけ分かりやすい言葉でゆっくりと話し掛け、本人の意思を確認しながら支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせ柔軟な対応が出来るように介護計画を作成している。一人ひとりに合った暮らしを希望に沿って支援できていると思う。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服の購入もご家族様が本人に合う色やデザインを選んで持ってきて下さる。ヘアカットも定期的に介助サービスを行っている。外出時などにはその人らしいお洒落を支援し衣類の乱れがないよう気遣っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるように一人ひとりの好みの把握に努めている。料理の下ごしらえや味付けの具合などへの参加も頂き、笑いの多い楽しい食事で片付けへの協力も得られている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や水分量のチェックをその都度行い一日を通して確保できているかの確認を行っている。また水分摂取を拒まれる方には時間に関係なくこまめに飲んで頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアチェックも毎回行っている。毎食後の義歯洗浄に加え夕食後はポリデント洗浄も行っている。認知症の人に多く見られる口腔内の疾患についても学び注意もしている。歯科受診への支援も行っている（義歯調整）		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の失敗やおむつ使用を減らす意味においては一人ひとりの排泄パターンを把握したり、時間での誘導、排泄チェック表での確認等で自立に向けての支援を行い布パンツへとなられた。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄・排尿チェック表を基に早め早めの対応に心がけている。食べ物（繊維の多い食材）芋・果物など多めに摂取。散歩の声掛けや水分も多めに摂取どうしてもダメな場合は排泄を促す暖下剤を服薬して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を好まれる方は多いが、本人の意志や体調を考慮して行っている。認知度が進むにつれて声掛けや、時間のタイミングが重要となっている。個々に応じた入浴支援を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活パターンを把握しその時々状態・状況に応じて対応している。一日を通して安心して気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援は確実にスタッフが行っている（読み上げ確認）定期薬の変更や追加薬については受診記録紙や薬局からの説明書を個人ファイルに閉じてスタッフ全員が理解できるようにしている。その後の症状の変化についても観察確認行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事への喜びや楽しみを味わって頂きたく、黒板へ毎日の日付記入や食器洗いその他、（役割支援）スタッフと共に行う事で張り合いや喜び笑いのある日々を過ごして頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの体調に応じて外出の頻度は異なるが、出来るだけ本人の希望に沿って外出（ショッピング・ドライブ・外食）等の支援をおこなっている。日常的には面会に来られた時、御家族様への協力を頂き、一緒に散歩を楽しまれたりしておられる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人、ご家族からのお金の所持金を希望される方は今のところおられません、欲しいものがあつた場合には一緒にお店へ出向き買い物の支援は行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族様から電話が入った時には、必要に応じ、本人と変わり会話を楽しまれる。ご家族さまとの電話での会話で元気をもらい表情も明るくなる。電話を希望される方への支援もおこなっている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関やホールは、季節の花や散歩の途中で摘んで来た草花を生け、季節を感じながら穏やかに過ごして頂けるよう努めている。季節に応じてホーム内の環境づくりに取り組んでいる。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室にあるソファでゆっくり過ごされる人、好きな居場所がそれぞれにある。気の合った利用者同士で笑いの多い日々を過ごしておられる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの部屋には思いである写真やギター・置物等があり、居心地良く過ごせる空間が出来ている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は全面バリアフリーになっており、廊下は手すりがかまなく設置されている。利用者が安全に自立した生活が送れるようになっている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない